

全国進路指導研究会

夏のセミナー：2016

生きる・学ぶ・働く

—子ども・青年とともに未来を拓こう!—

■ 2016年7月31日(日)

10:30~16:30 開場10:00

■ 東洋大学白山キャンパス

スカイホール(2号館16階)

(都営地下鉄三田線白山駅5分、南北線本駒込駅7分)

10:00 受付開始 10:30 開会

●講演

これでよいのか日本の教育改革—

地域社会と教師の共同を求めて—



講師：山本由美

さん(和光大学教授)

近著『教育改革はアメリカの失敗を追いかける—学カテスト、小中一貫、学校統廃合の全体像』(花伝社)、編著『ベストスクール アメリカの教育は、いま』『小中一貫教育を検証する』『学カテスト体制とは何か』(何れも花伝社)

☆当日、発刊されたばかりの著書の販売も予定しています。

『学校取り戻せ—シカゴ、足立、貧困と教育改革の中の子どもたち』

13:00

●報告 『「中教審」が現場に求める「教育」のなにが問題か』 今泉博さん(世話人)

(元北海道教育大教員/元公立小学校教員)

13:40

●シンポジウム

講演、特別報告をもとに、教育現場で何が起きているのか、これからの学校はもとより、保護者・家庭・地域社会に何が問われているのか、を深めていきます。

14:55

●分散交流会

シンポジストと参加者で、小グループに分かれて討議・交流していきましょう。

16:00 報告/まとめ

16:30 閉会

子ども・青年たちの未来は、教師・保護者、市民の立場を越えたわたしたち日本の未来です。ところが、日本では、「世界で一番企業が活躍しやすい国」の「人材づくり」として「教育改革」が展開されています。

小中、中高一貫校の増大、英語重視、理数重視、海外留学の奨励、国際バカロレアの普及、大学入試改革、アクティブラーニング、全国学力テスト、そして道徳の特別教科化などなど。

教育現場は、学問的な裏付けが不十分なままの教育行政からの施策で疲弊しきっています。日本の教育のありようを、もう一度、世界の流れの中で見つめ直して、教育への希望や展望を明るく語り合しましょう!

資料代：1500円 / 学生800円 高校生以下無料

主催●全国進路指導研究会

連絡先 090-9145-9892

HP <http://zenshinken.jimdo.com/>

Email zenshinken@hotmail.com

※終了後「懇親会」を行ないます。